

公民館月報

K O M I N K A N G E P P O



特集

「いのち・愛・人権」南魚沼展

—きりひらこう!人権と共生の世紀—

4.5

- 2 トピックス 第60回文部科学大臣表彰
- 3 視点 中越沖地震に遭遇して
- 3 ひろば 今こそ大人が良きモデルに
- 6 実践記録シリーズ モットイナイは地球を救う「エコライフ講座」
- 7 サークル交流 お腹から大きな声をだしていつまでも若々しく (佐渡市) / 筆に思いを込めて (出雲崎町)
- 7 素顔拝見 堀 健男さん (新潟市) / 早川 圭子さん (見附市)



上杉景勝 (左) 直江兼続 (右) レリーフ



長尾越前守政景公古碑

「二人の英雄のレリーフと
坂戸城主長尾越前守政景公古碑」 南魚沼市

表紙解説 南魚沼市は、上杉景勝・直江兼続の生誕の地です。智勇兼備の名将直江兼続の一生を描いた「天地人」が2009年NHK大河ドラマに決定しました。



快挙!! 第60回文部科学大臣表彰 本年は新潟市から2館受賞す

地域が育んだ公民館 共に喜びたい

新潟市西川地区公民館長 幸田 起夫

新潟市が日本海側で初の政令都市としてスタートした年に、記念すべき第六十回の優良公民館文部科学大臣表彰を受けたことは、大変喜ばしいことであり、榮譽なことであり、

西川地区公民館は、昭和三十六年に合併による



新生西川町の誕生以来、地域住民の学習の拠点として、住民の

多様なニーズに対応した講座やスポーツ事業を展開してきました。さらに利用団体やボランティアとも連携して、地域の連帯感の醸成に貢献してきました。

最近では、次の事業に力を入れて活動しています。

- 児童の居場所づくり (学校週5日制対応事業) キッズ倶楽部を編成し、土曜日には児童に様々な体験の場を提供している。
- 家庭教育に資する事業 (家庭教育学級)



地区内の小中学校にそれぞれ学級を開設して、学校と公民館が連携して講演や講座を開催している。

築いた先達、そして積極的に携わっていただいたボランティアや利用団体の努力の賜物であります。公民館関係職員は、この受賞を西川地区住民の誇りとし、公民館活動協力員共々ますます公民館活動の活性化に努力する決意であります。

最後になりましたが、今回の表彰にご尽力いただきました関係者の皆様へ心より厚くお礼申し上げます。

優良公民館表彰を受賞して

新潟市石山地区公民館長 土田 孝一

このたび、新潟県内で当公民館と西川地区公民館の2館が優良公民館文部科学大臣表彰を受賞することとなりました。今回の受賞は、利用団体連絡協議会や運営審議会委員・活動協力員の皆様の日頃のご支援とご協力の賜物と感謝申し上げます。



当公民館の事業は、家庭教育学級・青少年の居場所づくりなどの重点事業のほか、公



民館事業の地域への情報発信と交流を目指した「公民館へ行ってみようDAY」や、夏休みに一日公民館を開放した「宿題終わらせようDAY」など、地域の人から気軽に公民館へ足を運んでもらえる

市内で活躍する団体や演奏家を招いて、多目的ホールで定期コンサートを開催する。

今回の受賞は、公民館活動の基礎を



よう親しみやすい企画を心がけております。特に今回受賞のきっかけとなった「地域安全マップづくり」は、子どもたち

どもの目線で地域の大人と子どもたちが一緒にマップづくりをすることにより、地域の安全を見直すことと、地域の大人と子どもたちの新たな関係づくりにより役立つものと考えております。公民館はよく「出会い・ふれあい・



保坂武文部科学大臣政務官あいさつ

学びあい」の場であると言われています。今回の受賞を機会に、もう一度原点に戻って、地域の人たちが気軽に出席したり、学びあえるよう努めてまいりたいと思います。

最後に、受賞に際しご尽力いただきました新潟県生涯学習推進課及び関係者の皆様には、心から御礼申し上げます。

視点

中越沖地震に遭遇して

柏崎市柏崎公民館長 酒井 明



柏崎公民館のある市民プラザと、市内の二十六箇所の公民館分館(コミセン)の全体で約一億二千万円の被害が出ましたが、公民館の利用者だけが人等が出なかったことが幸いと思っています。

ピーク時で一万一千四百人が避難所生活を余儀なくされましたが、八月いっぱい避難所を解消することができました。市民プラザも避難所となり、約一カ月間利用できない状況で利用者に不便をかけた。

被災から三カ月が経過し、

全体的には少し落ち着いてきたように感じますが、復興スローガン「がんばろう!輝く柏崎」のもと、まだまだ頑張っていかなければならないと思っています。

最後になりましたが、今回の地震にあたり、新潟県公民館連合会、新潟県公民館振興市町村長連盟をはじめとして、多くの関係者の皆様からお見舞い・義援金をいただきましたことについて、紙面をお借りしまして御礼申し上げます。

H O T N E W S

掲 示 板

平成20年度 公民館関係の諸大会

- 第59回新潟県公民館大会**
 - 期 日 平成20年7月18日(金)
 - 会 場 リージョンプラザ上越
 - 内 容 基調講演 事例発表
 - 参加費 1,500円
- 第31回全国公民館研究集会**
 - 期 日 平成20年11月6日(木)
7日(金)
 - 会 場 高知県立県民文化ホール
(高知市)
 - 内 容 全体会 記念講演
8分科会
 - 参加費 4,000円
- 第49回関東甲信越静公民館研究大会**
 - 期 日 平成20年8月21日(木)
22日(金)
 - 会 場 千葉市民会館
 - 内 容 全体会
(基調講演またはシンポジウム)
15分科会
 - 参加費 3,500円

ひろば

今こそ大人が良きモデルに

関川村社会教育委員 工藤ひとし

近年、規範意識の低下、思いやりの心の欠如、人間関係の希薄化等、子どもの心をめぐる問題が多発している。子どもが変わった、世の中が変わったという前に、大人が「思いやりの心」を持って周りの子どもや他の人に接しているだろうか。不平・不満を言うだけ、相手を責めるだけになっていないだろうか。

農家の方が「お米も花も野菜も愛情がないと育たない。」と話されていたが、まさに子どももその通りである。

子どもは「自分が大事にされている。」「愛されている。」という心が満たされた体験や、実感が心から湧かなくては、相手を大事には出来ない。いずれ子どもたちが大人になる。世の中を作る。子どもは希望である。子どもより大切な存在がこの世にあるだろうか。育てるのは大人である。

保育園の最近のお母さん方は忙しい中、親子遠足に来てバスで寝る時でも子どもを抱っこしている人は数えるしかないという。また、中学生が頭が痛いとお訴えしたら「バファリンは薬箱の中」と顔も見ないで言われたとか。薬の前にはやることあるはず。



南魚沼展 —きりひらこう!人権と共生の世紀—

講演会は、山口県人権啓発センター事務局長を務めておられる川口泰司さんが、「【差別って いったいなんやねん?】 ~若者からのメッセージ~】をテーマに約700人の市民や関係者を前に熱く語られました。

3. 市内の小・中学生が見学

南魚沼市教育委員会では、「いのち・愛・人権」南魚沼展を市内の児童生徒が差別の現実や実態を学ぶ絶好の機会としてとらえ、市内の小学生の5・6年生、中学生の全学年、約3,400人が参観を行いました。また、市内の高校生、市外の小中学校の児童生徒など約1,000人が参観を行いました。



パネル展の見学状況

実行委員会では、南魚沼展開催前に多くの小・中学校の児童生徒の参観が予想されたため、12ページにわたる児童生徒用のパンフレットを再編集し、各学校での事前学習の資料として使えるように電子データ化して配布しました。展示物は、小・中学校の児童生徒でも理解しやすい内容となるように配慮しました。解説員についても、東京都同和教育研究協議会の先生を招いて解説していただいたりして工夫をしました。

社会教育の面でも、人権教育や人権啓発をさらに進めるための機会としてとらえ、市の広報誌など様々な機会を活用し、記念講演会やパネル展のPRに努めました。

4. 南魚沼展を契機に

南魚沼市では、2005年、2006年と「同和」教育講演会を開催し、教職員や行政職員への教育研修を進めてきました。南魚沼市では、南魚沼展を契機に、すべての市民が人権やこれにかかわる諸問題について見詰め直す絶好の機会であったと考えています。今後は、教職員や行政職員の人権意識の向上はむろんのこと、市民に向けての人権教育・人権啓発活動を推進していくとともに、地域や家庭における人権教育・人権啓発の活動を支援していきたいと考えています。また、公民館活動の中でも、情報の提供や指導者の育成などを積極的に進めて行くこととしています。



解説員によるパネル解説

今回の「いのち・愛・人権」南魚沼展の開催が、南魚沼市にとって人権教育と人権啓発の面でたいへん意義ある年となりました。

特集

「いのち・愛・人権」

1. 南魚沼地域で初の開催

「いのち・愛・人権」南魚沼展が南魚沼市の市民会館において、11月7日(水)から14日(水)までの8日間にわたり開催されました。

「いのち・愛・人権」展は、1989年に新発田市で開催以来、今回で19回目となる歴史を持っており、県内の人権、同和問題の解消に向けた契機となる事業として、大きな役割を果たしてきていることはご存じのとおりです。「いのち・愛・人権」南魚沼展は、南魚沼地域での初の開催となりました。



南魚沼展実行委員長挨拶 (雲洞庵住職：新井勝龍様)

「いのち・愛・人権」南魚沼展は、南魚沼展実行委員会のほか、新潟県実行委員会、新潟県人権・同和センター、部落解放同盟新潟県連合会の4団体が主催し、新潟県、新潟県教育委員会をはじめ、県内の市町村及び教育委員会、宗教団体、労働組合など100を超える団体が参加して準備、運営に当たってきました。年度当初から打合せ会議、結成総会準備会、結成総会、事務局会議及びパネル製作専門委員会を開きながら開催に臨んできました。

21世紀は「人権の世紀」といわれ、あらゆる差別の撤廃と、人権尊重社会の実現が強く求められています。しかし、今もって部落、

いじめ、虐待、女性、障害者、外国人などに対する差別や偏見が大きな社会問題となっています。人権展が南魚沼市で開催されたことは、市民が人権への理解と認識をさらに深め、人権意識の向上につながったものと思われま

2. 川口泰司さんを招いての記念講演会

11月7日は、南魚沼市民会館の1階ギャラリーにおけるテープカットで幕を開けました。テープカットの後、パネル製作専門委員長の長谷川均さんが、江戸時代から続いた県内の差別の実態や事件、被差別部落が受け継いできた伝統芸能や工芸、「いじめ」や「女性」などに関するパネルについて詳しく解説されました。



記念講演 (山口県人権啓発センター事務局長：川口泰司様)

その後、市民会館内の大ホールを会場として、オープニングセレモニーと記念講演会が開催されました。オープニングセレモニーでは、南魚沼展実行委員長、新潟県実行委員長、解放同盟新潟県連合会執行委員長の主催者挨拶があり、来賓としてお招きをした新潟県知事代理福祉保健部長、南魚沼市長、県同和教育研究協議会長から祝辞をいただきました。記念

実践記録

117

シリーズ

モットイナイは地球を救う「エコライフ講座」

新発田市中央公民館 主任 斎藤百合子

1 きっかけ

環境問題については、以前から関心がありましたが、近年立て続けに起こる自然災害は温暖化に対する地球からの警鐘と考えていました。ちょうどそのころ「市民教養講座」という自由に企画できる講座の担当となったことから、環境問題を取り上げることにしました。

2 企画

主題が固苦しいものだけに、できるだけソフトで人々の関心を集められる内容を語る講師をと、講師探しには時間を費やしました。

そんな中、新聞の別冊に入っていた「みんなの！エコライフ スローライフ」という冊子との出会いがありました。そこには環境のためにできる小さなことの提言がたくさん掲載されており、その冒頭で紹介されていたのが、橘さんでした。橘さんは環境省環境カウンセラーとして、ごみの減量やリサイクル活動に熱心に取り組んでいる方です。ここはひとつ講師にとお願いしたところ快く引き受けてくださいました。

第2回目は実践をと思っていたので、啓発活動に熱心な新潟市の資源再生センターの「エコパーク」見学を企画。

第3回目は最終回。1・2回目がいわば「官」の取り組みなので、最後は「民」の取り組みを紹介しようと、「チームエコ」の活動で有名なテレビ局にお願いしたところ、こちらも快く承諾してくれました。

講師がいずれも快諾してくれ、船出は順風に思われましたが…。

3 募集の苦労

広報紙に掲載し、募集を開始しましたが、困ったことに人が集まりません。そこで、環境推進課に環境団体へチラシの配布をお願いしたところ、マイ

バック運動に熱心な団体から参加の申し込みが…。その他に、当館で他の講座に受講している方や講師のお知り合いなど、17名の参加をいただき、なんとか開講にこぎつけました。

4 講座内容

第1回目は、「ドイツに学ぶエコ生活」と題し、環境先進国として知られるドイツの生活を紹介。日常生活の中で物を捨てない、再利用（リユース）する国民性を感じました。また、当市の冬のイベント「全国雑煮合戦」でリユース食器を利用していることも紹介。初めて知った参加者も多かったようです。

第2回目エコパーク見学。実際のごみ処理の現場を見ることで排出抑制（リデュース）がいかに大切かを知るよい機会となりました。

第3回は「チームエコの活動」と題し、チームエコを始めたきっかけや現在のチームエコワークの取り組み、また佐渡市片野尾地区に残る豊かな自然を守る活動を紹介。講師のUX新潟テレビ21の田中さんはチームエコを企画運営する傍ら、大学院で環境科学を学ぶ研究生でもあり、深い見識から環境保護活動の重要性を訴えました。

5 講座を終えていと思うこと

全3回を通じて感じたことは、現場をよく知る講師の話が受講者の興味を引き、そのことから活発な意見交換が行われたということです。その点では関心を喚起するという目的を達成できたと思っています。

アンケートでも、こういった講座を続けてほしいという意見もありましたが、単年度事業なので今回で終了しました。

しかし、昨冬の小雪や今夏の猛暑は記憶に新しいところですが、温暖化の影響は確実に私たちの足元に及んできています。行政をあげて精力的に取り組むべきときが来ていると感じています。



お腹から大きな声をだして
いつまでも若々しく

金井詩吟の会

旧金井町が、県下で一番に生涯学習宣言をしたのをきっかけに、私たち金井詩吟の会は、平成十二年六月に十名で発足し、現在に至っています。

宇治神禾先生のやさしさの中にも厳しさがある熱心な指導のもと、和気あいあいと楽しく学習しています。

練習は月二回、第一・第三の木曜日です。

先生をはじめ仲間の多くは農家であるため、農繁期は夜

七時から、農閑期は午後一時半からで、約二時間の学習です。

現在、今年で二十二回目となる金井芸能発表会参加に向けて、先生の企画吟で仲間と力を合わせて大きな声で頑張っています。

佐渡市 金井詩吟の会
川上 重乃 記



筆に思いを込めて

書道サークル

会社務めを終える頃より、頭をよぎっていた思いの一つが、「香典袋くらい筆を使って書けるようになりたい」との一念でこのサークルに入りました。月二回で、私は四回程



になります。お陰様で、筆を持つことが恐くなりました。これだけでも有難いことです。毎回先生の下、十名程で、主に良寛詩を題材として習っておりませんが、このサークルを通じて、聖僧良寛の偉大さの一端に触れることが出来るのも、また魅力の一つとなっております。

活動の成果は、町の生涯学習フェスティバルや、時々公民館で展示をさせていただいております。上級者から初心者迄、皆さん無理をせずにしみながら続けることを心掛けております。

出雲崎町
相澤 貞夫 記

見附市公民館の一輪の花？早川圭子。彼女の作り出す独自センスの広報チラシは他の追従を許さず、公民館職員の間でかなりのセッションを巻き起こし、公民館初体験にして早くも頭角を現し、大きな存在感をかもし出しています。尻はデカイがフットワークは軽く、自分の仕事外でも頼まれるといやとはいえず、小さなことから大きなことま

見附市中央公民館

主事 早川 圭子さん



で笑顔で対応してくれています。

そんな彼女の唯一の悩みが彼氏がないこと、そこでこの場を使って彼氏探しをしたいと思えます。我こそはと思った方がいらっしゃいましたら、見附市中央公民館まで連絡をください。皆様からの熱いメッセージをお待ちしています。

(見附市今町公民館 川上一幸 記)

今回は、中之口地区公民館のエースで、ホープの堀主事を紹介します。堀主事は今年29歳のバリバリです。中之口村の頃に、産業課から始まり、教育委員会では社会体育係で体育館、B&Gプールに3年間、新潟市となってから公民館で3年目となる若手のエースです。家に帰れば2人の幼い子どもの良き父として、公民館では子どもからお年寄りまで男女を問わず住民からの

新潟市中之口地区公民館

主事 堀 健男さん



信頼が厚く、窓口や電話では『堀さん居ますか？』『堀さんお願いします！』の毎日です。夏には社会教育主事の資格も取得し、公民館の事業計画、運営管理、来たばかりの私への指導で持てる力を十二分に発揮し獅子奮迅の働きです。これから、冬休みの餅つき、書初め、カルタと事業も目白押しです。今後も健康には注意し活躍されることを希望し、紹介とします。

(中之口地区公民館 長谷川 記)



Net work ネットワーク

平成19年度 第2回関東甲信越静 公民館連絡協議会理事会・研修会開催

◇11月16日(金)
国立教育政策研究所社会教育実践センター 22名出席

1. 開会あいさつ (11:00~11:10) 高橋会長
2. 研修会 (11:10~12:00)

講演

テーマ「公民館の現状と今後の方向性」

講師 国立教育政策研究所社会教育実践研究センター センター長 馬場祐次朗氏

3. 理事会 (13:00~14:55)

(1) 議事

①第30回全国公民館研究集会兼第48回関東甲信越静公民館研究大会(栃木大会)の反省について

②第49回関東甲信越静公民館研究大会(千葉大会)について 概要は第3面 20年度 諸大会欄に

③第50回関東甲信越静公民館研究大会(山梨大会)について H21. 8. 27(木)・28(金)

河口湖ステラシアター-全体会

富士河口湖町公共施設-分科会

宿泊 富士河口湖町周辺ホテル

④その他

(2) 情報交換

(3) その他 次回 平20. 2. 22(金)

千葉県生涯学習センター

4. 閉会あいさつ (14:55~15:00) 高橋会長



information

平成19年12月の催物ご案内

惠贈資料紹介

文芸さんぽく第23号

県北の地より「文芸さんぽく」最終号が届けました。巻頭に、最終号に寄せてと題して、大滝平正町長さんが「この度、「文芸さんぽく」が最終号を迎えることとなりました。毎号興味深く読ませていただきましたが、寂しい限りです。……(中略)……これからは折に触れ、時に触れ開いてみることにしてみますが、「ああ、こんな時にこんな人が、こんなすごいこと



を思っていたんだ」と思うことが多くあると思います。廃刊になってもなお、生きているものがあると信じています。……(後略)……また、表紙に寄せて、では

山北町教育委員会

青木謙幸さんは——(前略)これだけ親しまれて来たものが今度、合併することになり淋しい思いにかられますが、かつて山北町が存在したことを風化させることなく、再認識するため——として、町花、山ゆりの白さと赤みがかった浜ゆりを心を込めて描かれております。二十三号まで編集刊行に携わられた皆々様に心から敬意を表する次第です。

あ と が き

七月十六日の中越沖地震災害により県大会を紙上天会に切り替えましたが、県補助金執行の関係で、上越地区と新潟市で二月中旬

研修会を開催することとなりました。一月にはご案内できるかと思いますが、何分よろしくお願ひします。それでは良いお年を！
(鈴木 記)

夢・化学-21 わくわく実験フェア

主催：「夢・化学-21」委員会

当事業は独立行政法人国立青少年教育振興機構の助成を受けています

乾電池の分解再生実験

乾電池を分解して中のしくみを調べます

■日 時 ①12月8日(土) 13:00~14:15

②12月9日(日) 13:00~14:15

■講 師 品川区立小中一貫校日野学園 山口晃弘先生

■参加費 入館料のみ

■定 員 各回申込者(電話などによる)先着20名

※小4以下は保護者同伴

■場 所 1階 科学室

光の成分を分析してみよう!

分光器を作って光に含まれる色をしらべます

■日 時 ①12月8日(土) 14:30~15:20

②12月9日(日) 11:00~11:50

■講 師 世田谷区立梅丘中学校 江崎主郎先生

■参加費 入館料のみ

■定 員 各回申込者(電話などによる)先着20名

※小4以下は保護者同伴

■場 所 サイエンスラボラトリー

光るプラスチックバッジ

■日 時 12月8日(土) 11:30~12:10

12月9日(日) ①12:20~13:00

②14:30~15:10

料金

区 分	小・中学生	大人
入 館 料	100円	550円
入館料+プラネタリウム観覧料	200円	750円

◇12月の休館日は、3日(月)、10日(月)、17日(月)、18日(火)、25日(火)、29日(土)、30日(日)、31日(月)です。

◇毎週月曜日(月曜日が祝日の場合は翌日)の定休日のほかに、設備点検整備等のための休館日があります。

■講 師 日本化学工業協会 青山好延先生
 ■参加費 入館料のみ
 ■定 員 各回(当日開始30分前まで受付)先着30名 ※小3以上
 ■場 所 サイエンスラボラトリー

12月22日(土) 星空コンサート「クリスマスの夜」

プラネタリウムで弦楽四重奏の演奏と星空の生解説をお楽しみいただけます

■演 奏 カプリス弦楽四重奏団

■定 員 200名(各回先着)

■時 間 ①14:00~14:50 ②15:30~16:20

■料 金 入館料の他に大人300円 小・中学生150円

■場 所 プラネタリウムドーム

サイエンスボランティアによる工作教室 エコキャンドルをつくろう!

使用済みの食用油に凝固剤を混ぜてカラフルなクリスマスキャンドルを作ります

■日 時 12月16日(日) ①13:00~ ②14:00~ ③15:00~

■定 員 各回先着24名

■参加費 入館料の他に材料費50円

■場 所 1階 科学室

予告! 新習工作フェア

平成20年1月12日(土)・13日(日)

「スライム」「化石レプリカ」や歯ブラシを使って動く「プラスチックカー」など人気の工作が5種類!

参加料は1工作につき100円

●幼児、障害者手帳をお持ちの方は無料です。

●プラネタリウムを観覧される場合は入館料が必要です。

●20名以上(有料入館者)の団体は割引制度があります。

お問い合わせ先
新潟県立自然科学館 電話 (025) 283-3331
 FAX (025) 283-3336